令和４年度　月影保育園　評価　全体のまとめ

〇保育課程

本年度も、保育課程・年間計画・月計画・目標・基本方針など、子どもの発達状況に合わせ、異学年でも照らし合わせて作成している。昨年度に続き、コロナへの対応で、保育活動や行事など実施方法の変更などあったが、出来るだけ目標が達成できるよう工夫して行った。今後も、日々実践しながら、時々の状況に沿ってさらに見返し、子どもの実態に合わせて、職員会議等において全職員で確認、修正していく。

〇保育環境

本園の環境を生かし、お散歩や畑や花壇での野菜作り、椎茸とりなど実施できるものは継続し、年々充実させてきている。

保育室は、今年度も給食時はパーテーションを置くなどの工夫をし、三密を出来るだけ避ける工夫をしながらも、手作りの暖かさ大事にし、子どもがやりたいことが見つかる部屋にしている。年齢に応じて意図的に環境を変化させ、子供の意欲を刺激する工夫もしている。

屋外の、砂場や遊具は、引き続き安全面と衛生面の両面から常にチェックしていく。不備を見つけたら、すぐに報告、連絡することを忘れないようにする。今年度は、鉄棒下のゴムチップを補修した。

保育者の子どもにかける言葉、表情や、保護者への対応など、お互いに注意し合っている。マスク越しであっても、明るく、正しく、美しく、温かいものにしていく。保育者の何気ない一言が、苦情の原因になることもあるので、保護者への言葉掛けにも、丁寧な姿勢が大切である。

〇保育内容

職員会議で毎月、行事や活動について反省評価をして、次の活動に生かしている。

行事や活動は「目標」を大切にしてきており、内容や方法を工夫しながら、目標に向かって実施出来ていたと思う。今後も中身の見直し工夫を続けながら、子どもにとって楽しく思い出となる行事や活動になるよう取り組んで行きたい。

手洗い、うがい、消毒、換気、マスクの着用等、毎日の指導を今後も継続して行きたい。今まで以上に子供の健康観察に留意し、何かあったらすぐに対処していくようにする。

職員会議で話し合われている子供の表れを、全職員で共有し有効に指導していく。

〇　保護者の育児支援

保護者懇談会を、面談形式にしたので、個々に丁寧に話し合うことができた。今後も、保護者の想いや保育士の願い等を伝え合う場になるよう活用していきたい。玄関での引き渡しが終了したら、送迎時にもしっかり会話して、子どもについて情報を共有していくよう努めていく。

今年も、新しい形式による自己評価を取り入れました。自己の保育を見つめる機会ととらえて、謙虚に自分自身の保育を見直して行きましょう。

令和５年３月２２日　　園　長　　浅井　哲朗